

ロゼット苗の冷蔵処理によるトルコギキョウの抑制栽培法

矢 吹 隆 夫・山 口 繁 雄*

(福島県農業試験場いわき支場・*福島県南会津地域農業改良普及センター)

Flowering Control of *Eustoma grandiflorum* by Breaking Rosette with Low Temperature

Takao YABUKI and Shigeo YAMAGUCHI*

(Iwaki Branch, Fukushima Prefecture Agricultural Experiment Station・)
*Minami Aizu Regional Agricultural Extension Service Center

1 はじめに

福島県内におけるトルコギキョウの代表的な作型は、平坦部を中心とした秋播き夏切りの無加温普通栽培と、山間高冷地を中心とした春播き秋切りの抑制栽培である。このうち春播き秋切り栽培は、秋にボリュームのある高品質の切り花生産を狙った作型で市況も安定していることから、近年は高冷地だけでなく平坦地においても増加している。

この秋切り栽培の中でも11月を中心として10月下旬から12月中旬にかけて切り花する場合は、育苗期が高温となるため幼苗のロゼット化が問題となる。このため夜冷育苗や高冷地育苗を用いてロゼット化を回避する栽培方法が試みられているが、ここでは播種後高温下で育苗し生理的にロゼット化が誘導された苗を、照明下で4週間低温処理しロゼットを打破して秋切りをする抑制栽培法について検討した。

2 試験方法

(1) 試験場所 福島県農業試験場いわき支場

(2) 試験年次 1994年

(3) 試験区の構成

- 1) 供試品種 ロイヤルピンク (極早生系品種)
ハイセンスパープル (中生系品種)
グローリーピンク (中晩生系品種)

2) 播種期及び苗冷蔵期間

処 理 区	播種期 (月/日)	苗 冷 蔵 期 間 (月/日～月/日)	定植期 (月/日)
苗冷蔵区	5/ 2	6/15～7/12	7/15
	5/18	7/ 1～7/29	8/ 1
	6/ 1	7/15～8/12	8/15
無処理区	5/ 2	—	6/15
	5/18	—	7/ 1
	6/ 1	—	7/15
	6/16	—	8/ 1

(4) 耕種概要

1) 育苗方法 128穴のセル成型トレイを使用
播種後夜間密閉したガラス温室内で育苗し、日中気温35℃を目安に換気

2) 苗冷蔵処理 本葉4枚展開時にトレイごと冷蔵庫(10℃, 24時間照明)に搬入し4週間処理

3) 栽植様式 条間12cm, 株間12cm, 7条植え

4) 施肥量 (kg/a)

N-1.5, P₂O₅-1.5, K₂O-1.8

5) 加温方法 温風暖房機を使用し10月21日から最低気温15℃に設定して加温開始

6) 日長処理 100V75Wの白熱電球を使用し(個/m², 高さ1m)10月27日から深夜4時間(22時～翌日2時)の暗期中断

7) 切り花法 1株当たり3輪開花時に切り花

1995年1月17日調査打ち切り

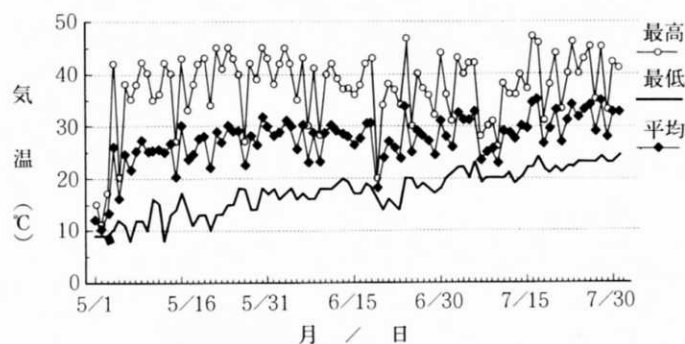


図1 育苗温室内の気温の変化

3 試験結果及び考察

(1) 抽だい

いずれの品種も苗冷蔵処理を行った場合は、ほぼ100%近く抽だいしているが、無処理では播種期が遅くなるにつれて抽だい率が低下し、特に「ロイヤルピンク」の6月16日播種では10%程度しか抽だいしなかった。また、抽だいない株の多い無処理区では切り花率も低下した。

(2) 切り花時期

苗冷蔵処理区では5月2日播種で10月末から11月上旬、5月18日播種で11月中旬に切り花が得られたが、6月1日播種では3輪咲き揃うのに時間がかかり切り花時期が12月末から翌年1月となり調査打ち切り時までには切り花できない株が多く残った。

また、播種期が同じ場合は苗冷蔵処理を行うことにより約2カ月近く開花が抑制された。

(3) 切り花品質

苗冷蔵処理区では播種時期が遅くなるほど、切り花長、

切り花重が増加する傾向が見られた。

また、7月15日、8月1日と同じ日に定植した場合は苗
冷蔵処理区の方が品質が優っており、更に苗冷蔵処理区と

無処理区で同じ11月に得られた切り花を比べると苗冷蔵処
理区の方が品質が優っていた。

表1-1 播種期及び苗冷蔵の有無が生育及び切り花品質に及ぼす影響 (品種: ロイヤルピンク)

播種期	苗冷蔵	抽だい率 (%)	切り花率 (%)	平均切り花期 (月/日±標準偏差)	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	節 数 (節)	分枝数 (本)	花蕾数 (個)
5/2	有	97.6	76.2	11/3±13.7	50.7	20.8	6.9	2.0	5.9
5/18	有	100.0	50.0	11/13±10.8	62.9	34.7	6.4	2.5	8.5
6/1	有	100.0	31.0	12/28±10.4	71.5	68.7	8.9	2.6	9.4
5/2	無	73.8	69.1	9/8±11.0	46.4	18.5	5.8	2.1	7.4
5/18	無	26.2	26.2	10/13±26.9	38.2	20.1	6.2	1.7	5.9
6/1	無	45.3	45.3	10/14±18.4	43.0	18.9	6.1	1.7	5.9
6/16	無	11.9	7.2	11/7±16.0	39.0	16.0	5.3	1.8	5.0

表1-2 播種期及び苗冷蔵の有無が生育及び切り花品質に及ぼす影響 (品種: ハイセンスパープル)

播種期	苗冷蔵	抽だい率 (%)	切り花率 (%)	平均切り花期 (月/日±標準偏差)	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	節 数 (節)	分枝数 (本)	花蕾数 (個)
5/2	有	100.0	90.5	10/29±10.7	51.0	17.7	9.0	1.6	5.3
5/18	有	100.0	66.7	11/11±12.4	62.7	38.1	8.9	2.1	7.1
6/1	有	100.0	25.0	1/8±10.8	73.6	86.3	10.1	2.1	5.5
5/2	無	100.0	100.0	9/2±3.2	55.9	22.8	7.4	2.3	8.8
5/18	無	97.6	92.9	9/15±8.9	45.3	16.5	7.0	1.9	6.9
6/1	無	97.6	92.9	9/19±6.3	48.2	19.4	7.0	2.1	7.0
6/16	無	76.2	43.0	11/1±8.4	41.5	19.4	6.9	1.6	4.9

表1-3 播種期及び苗冷蔵の有無が生育及び切り花品質に及ぼす影響 (品種: グローリーピンク)

播種期	苗冷蔵	抽だい率 (%)	切り花率 (%)	平均切り花期 (月/日±標準偏差)	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	節 数 (節)	分枝数 (本)	花蕾数 (個)
5/2	有	97.6	66.7	11/5±11.6	43.4	20.8	7.7	1.8	5.1
5/18	有	100.0	57.2	11/16±12.9	55.1	32.4	7.2	2.1	6.9
6/1	有	100.0	28.6	1/3±9.8	66.6	56.6	8.8	2.1	6.8
5/2	無	95.2	88.1	9/7±9.6	43.9	16.2	6.4	1.9	6.7
5/18	無	64.4	50.0	9/24±13.7	42.6	15.0	6.0	1.7	5.1
6/1	無	57.1	40.5	10/7±15.1	37.3	12.4	6.3	1.5	4.3
6/16	無	45.2	16.7	11/1±9.2	34.3	12.5	5.8	1.6	3.5

4 ま と め

以上の結果、苗冷蔵処理法はロゼット打破の効果が高く
切り花時期を遅延させることが認められた。

また、苗冷蔵処理を用いて播種期を遅くすると切り花品

質が向上するが、11~12月に切り花を得るためには5月中
旬頃の播種が適当と考えられる。

しかし、切り花率が50~60%台とあまり高くないため開
花率の向上について今後検討の必要がある。